

高千穂シラス株式会社

100%自然素材を住まいの資材に。



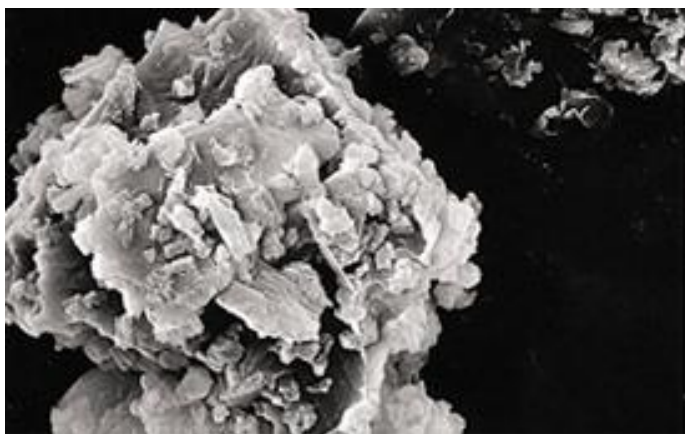
高千穂シラス株式会社の主力商品であるシラス壁は、宮崎県都城市のシラス台地で採れるシラスを原料に生まれた。

「創業者の新留の生まれ故郷が、宮崎県なんです。シラスとは、火山噴火によって堆積したセラミック物質の地層で、これまでは農耕にも適さず、豪雨の際は土砂崩れなどの災害を引き起こす厄介者と思われてきました。けれどもシラスには特異な成分構造があり、多孔質であることもわかっています。こうした特性を生かし、建築材として開発されたのがシラス壁です」

もともと親会社である高千穂株式会社では、新築、リフォームなどの住宅建設業を1970年から営んできた。そうした経験を重ねるなかで、新建材の台頭、シックハウス症候群の急増など社会的な問題に向き合い「住む人が健康に暮らせる住まいづくり」を追求した結果、生み出されたのがシラス壁だった。

シラス壁の機能として注目すべきは、消臭、空気清浄という働きがある。これは細かい微粒子の中に無数の穴が空いた多孔質構造と、その空洞にニオイや化学物質の分子を吸着するという特性による。またシラスの主成分である珪酸は調湿機能に優れている。環境に応じて断熱、調湿を行う機能により、蒸し暑い夏でも体感温度を2度下げ、快適空間をつくる省エネ効果が期待できる。

「調湿機能を持った類似のセラミック壁は他にもありますが、100%自然素材といえるのはシラス壁の強みです。また素材だけでなく、製法にもこだわって、今も人の手によって自然と調和した方法によって仕上げています」



高温による焼成工程が欠かせない一般的なセラミックに比べて、シラスの場合は焼成工程もなく、天日干しで乾燥させている。

「無機顔料を使った独自の製法により、可能になりました。時間はかかりますが、環境への配慮を大切にしているのです」

またシラス壁は大型工場を作らず、加工については地元の農家に加工を委託し分散させることで、地域雇用を生み出し、農業と産業の両立を実現させている。

「環境に配慮し地域貢献を行う生産管理は、環境マネジメントシステムのISO14001 認証も取得しています。性能が優れているのはもちろんですが、自然と調和したものづくりを行うことで、私たちは本当に持続可能な住まいを心がけているのです」



会社概要

高千穂シラス株式会社

代表取締役社長：新留 昌泰

本社：宮崎県都城市山田町中霧島 1719

【ライフニックス事業部】 横浜市西区みなとみらい 2-2-1
横浜ランドマークタワー9F

TEL：045 - 224-6077 FAX：045 - 224-6078

設立：2008年11月

事業内容：住に関わる「環境・自然素材」の商品開発・製造・販売

URL：<http://www.takachiho-shirasu.co.jp>